



コロナ禍に思う

1995 年の阪神、淡路大震災、2011 年の東日本大震災、そして今回のコロナ騒動、これらでの共通の問題点は、事前にその発生を予測出来なかったことです。

宇宙開発、先端医療技術、最新のエレクトロニクス技術等々、日々進歩する科学技術をもってしても、その被害を最小限に食い止めることが出来なかったのでしょうか。

先日、新聞記事でヨーロッパのある国では、ウイルスの研究が最先端課題として取り扱われてきたとありました。

科学立国と自負する日本は、どうだったのでしょうか。コロナの治療先進国では、既にワクチン接種がかなり進んでいるのに、我が国では、外国よりのワクチンの輸入に依存し、やっとスタートした状態です。しかし。本件は今少し時間を要しますが、ワクチン接種の普及により、解決すると思います。

現在、差し迫って解決を求められているものは、地球環境問題です。より便利さを追求した結果として生み出された、大きなテーマです。

本件は、我々国民一人一人が、自覚を持って取り組まなければならないと、このコロナ禍をきっかけに思うものです。

会長(S35 物理)^{とときやすゆき}十時康行